

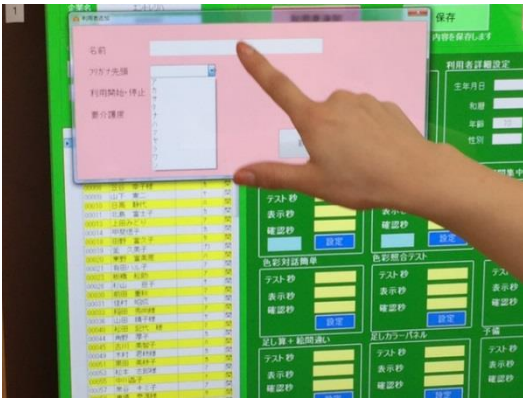


# 脳ぽち利用ガイド

---



## 1. 利用者情報の管理



利用者情報を入力することにより現病歴や介護度などを一括して管理できます。

## 2. 定期的評価



月に一度、評価モードによるトレーニングを行うことで定期的な評価および継続的なデータ管理を行うことができます。

## 3. トレーニング内容の選択



図. 標準モード

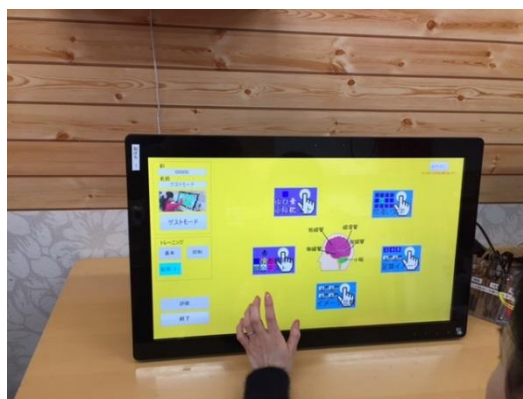


図. 拡張モード

標準モードでは脳ぼちの基本的なトレーニング（手と目の協調課題，記憶課題，計算課題，色彩判別課題）が実施できます。そして、拡張課題ではより難易度の高いトレーニング（周辺視トレーニング、ストループ課題、記憶と計算の複合課題）を実施することができます。



図. 標準モード



図. 簡易モード

脳ポチの標準モードでのトレーニングが困難な方には簡易モード（図は記憶課題の標準モードと簡易モードを示しています）を利用して頂くことができます。

#### 4. 実施結果の分析



図. 脳ポチ実施結果



図. 脳ポチ評価チャート

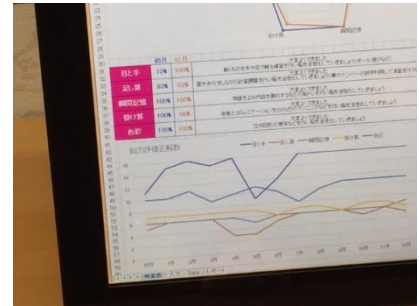


図. 脳ポチ継続変化

- ・脳ポチ実施結果を確認することにより毎回のトレーニング結果を正解、不正解を一覧表で表示することにより苦手な課題が把握できます。
- ・脳ポチ評価チャートを確認することにより開始時の状態と最終実施時の状況を比較し変化を捉えることができます。
- ・脳ポチ継続変化を確認することで初回から毎月の評価結果の変化を確認することができ、認知機能の変化を捉えることが可能です。

#### 5. その他のトレーニング方法



図. バランスボールと脳ポチを組み合わせたトレーニング

- ・脳ポチとバランスボールや自転車などの運動を組み合わせコグニサイズとして実施することが可能です